

MDPRO では、薬事工業生産動態統計調査(以下、薬動とする。)を活用した国内の医療機器市場分析を継続的に行ってきました¹⁾。分析データはMDPRO で利用するだけでなく、多くの方が手軽に市場の実態を把握できるように、2006年から2018年の薬動年報をダッシュボードにして公開しています²⁾。また、2019年に薬動の統計方法が変更されたことで、2018年以前との連続性が途切れたため、予測値である月報を集計して同じくホームページに公開しています³⁾。

昨年末に2021年の年報が公開され、統計方法の変更以来3年分のデータ集まりました。そこで、今回の年報公開を機会に、2018年以前と同じく時系列で国内市場の傾向を集計する新しいダッシュボードを作成しました。さらに、医機連ジャーナル119号「薬事工業生産動態統計調査を活用した市場分析」⁴⁾で検討した医療機器製品分類の手法を使って、医療機器市場の概観を把握するためのダッシュボードも用意しました。本稿では、新しく公開した2つのダッシュボードの集計方法と使い方を紹介します。

○ **医療機器の国内市場概観(リンク)**

薬動における「国内出荷高」は、最終製品として製造販売業者から出荷した数量に販売価格を乗じたデータで報告されます^{5),6)}。この「国内出荷高」を国内市場規模として、一般的名称のカテゴリに分別して積算しました。

一般的名称のカテゴリは、図1に示すようにPMDAのホームページで公開されている「一般的名称等一覧」と、医薬品・医療機器産業実態調査で使われている「医療機器製品分類表」を組み合わせ、類別コードとは異なる分類に仕分けています。具体的な手順は医機連ジャーナル119号をご覧ください⁴⁾。

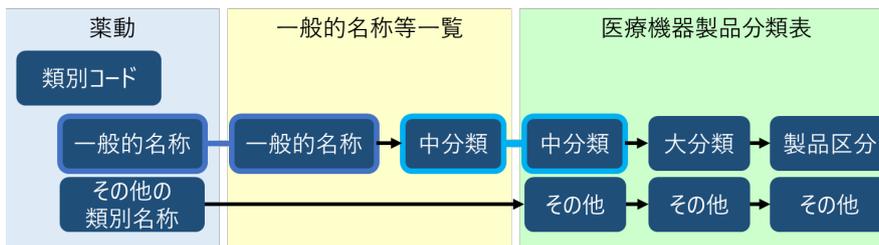


図1 薬動の一般的名称のカテゴリ分別方法

[出所]筆者作成

次にダッシュボードの使い方を紹介します。図2にダッシュボードにアクセスした直後に見える初期表示の状態を示します(リンク)。

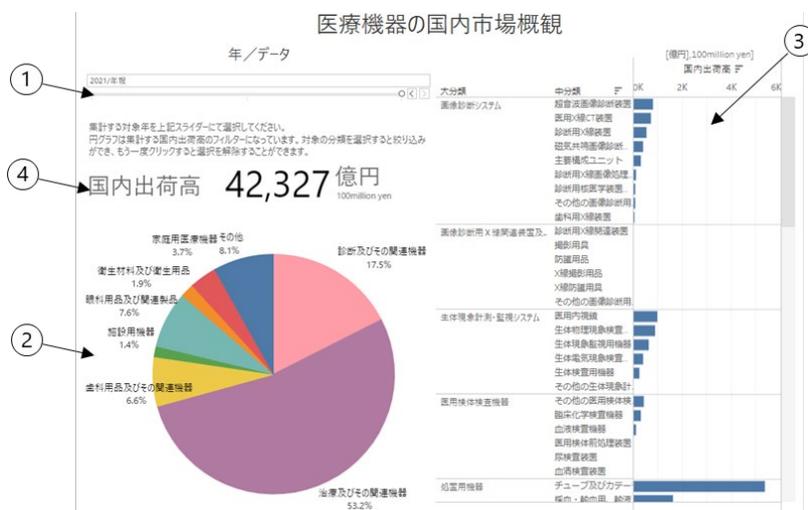


図2 医療機器の国内市場概観 初期表示の状態

- ① 分析する対象年を選択します。

図3のようにスライダーをクリックすると対象年が変わります。赤丸部の「< >」をクリックしてもスライダーを動かすことができます。



図3 対象年の選択

また、月報も12ヶ月分公開される3月以降に、予測値として本ダッシュボードにデータを取り込む予定です。月報は調査月の3か月後に公開されますが、その後データの見直しが行われるため、1年後に年報として公開されるものが正確な集計値です。

- ② 製品区別に国内市場規模の割合を表しています。

図1に示した製品区分毎に構成比率を算出しています。この円グラフは、ダッシュボード全体のフィルターにもなっており、図4のように分類を選択すると③、④のグラフや数値が変化します。選択した分類をもう一度クリックすると選択は解除されます。

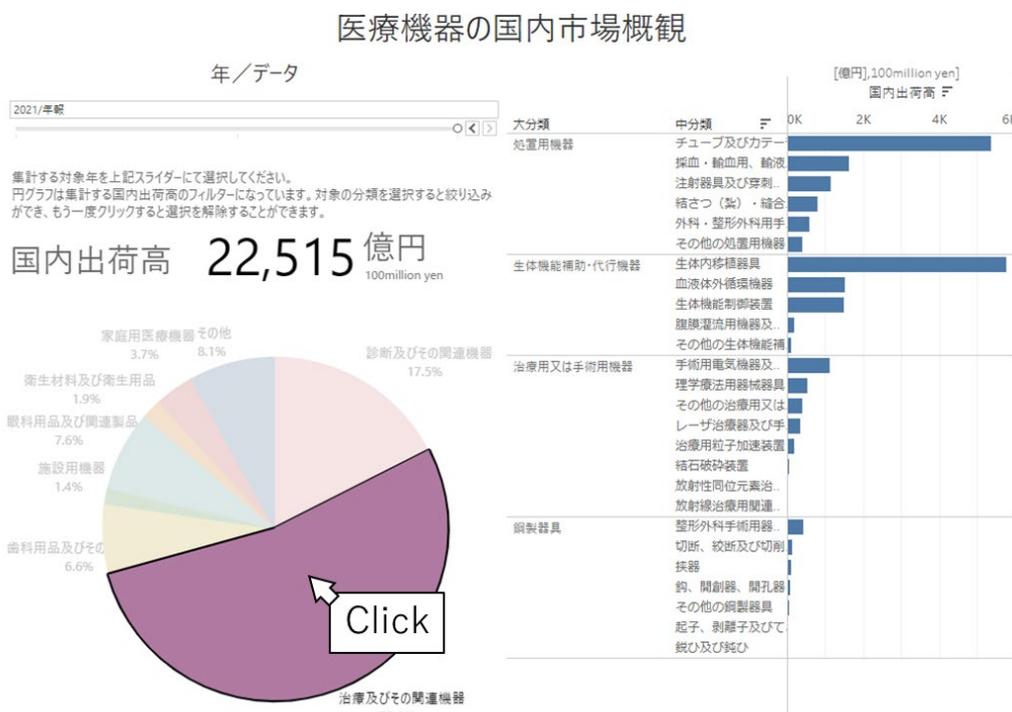


図4 治療およびその関連機器の国内市場概観

- ③ 中分類ごとの国内市場規模を示しています。②の円グラフで製品区分を選択すると、対象となる大分類・中分類のみが表示されます。
- ④ ②で選択した製品区分の国内市場規模を示しています。何も選択していない状態では対象年の総額が表示されます。

○ 医療機器の国内市場トレンド(リンク)

このダッシュボードは、時系列で医療機器の国内市場の傾向を分析することができます。二つのグラフが用意されており、一つは「国内出荷高」を集計し医療機器の国内市場規模の推移を確認できます。もう一つは、「輸入高」と「国内生産品出荷高」※を積み上げた棒グラフを示しています。概念的には、どちらのグラフの高さも国内市場規模ですが、「在庫高」等の影響により少し金額が異なっています。

※「国内生産品出荷高」= 「国内生産高」- 「輸出高」⁴⁾

次にダッシュボードの使い方を紹介します。図5にダッシュボードにアクセスした直後に見える初期表示の状態を示します(リンク)。

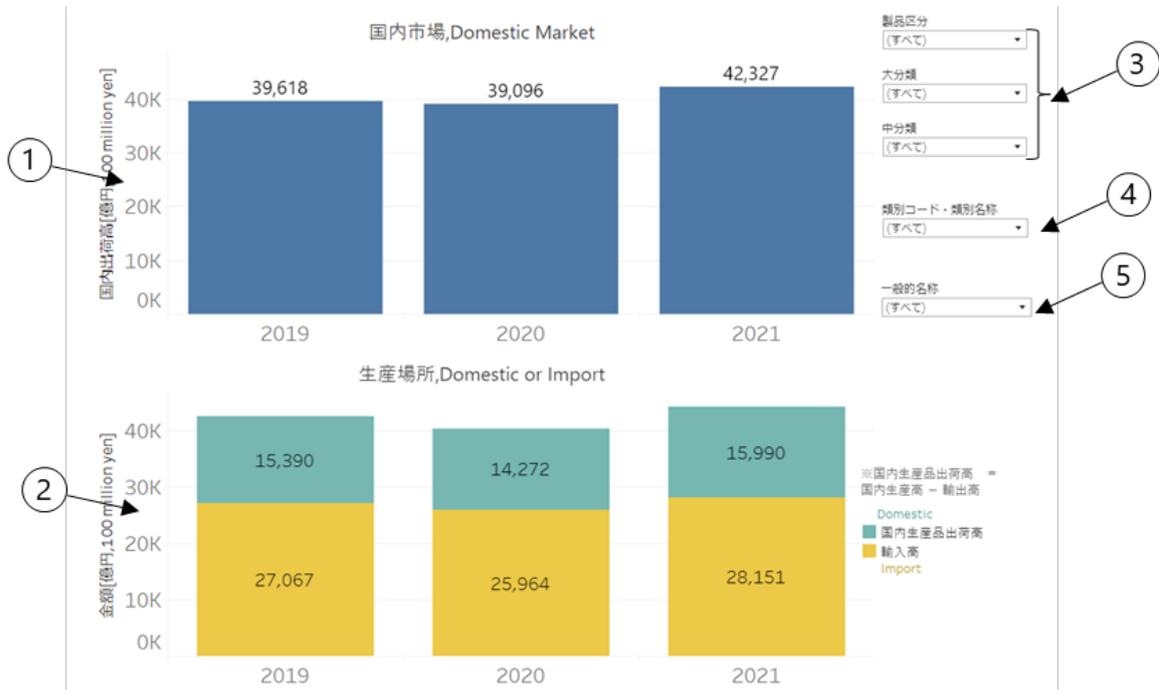


図5 医療機器の国内市場トレンド 初期表示の状態

- ① 選択されたフィルターにおける、医療機器市場の年次推移です。
- ② 選択されたフィルターにおける、「輸入高」と「国内生産品出荷高」を積み上げた年次推移です。国内市場における「国内生産」と「海外生産」の割合を把握することができます。
- ③ 図1の手順で仕分けた「製品分類」・「大分類」・「中分類」が選択でき、グラフ全体にフィルターをかけることができます。
- ④ 薬動で報告されている「類別コード・類別名称」が選択でき、グラフ全体にフィルターをかけることができます。
- ⑤ 薬動で報告されている「一般的名称」が選択でき、グラフ全体にフィルターをかけることができます。薬動は報告企業が3社未満の場合は類別名称毎に「その他」に分類し、個社情報が特定できないようにされています。各一般的名称の定義は、PMDAのホームページで公開されている「一般的名称等一覧」をご参照ください⁷⁾。

今回、薬動データを使った2つのダッシュボードを公開し、使い方の説明をさせていただきました。今後もMDPROデータ集をより使いやすく多くの方に利用して頂けるように、コンテンツを整理・拡充していきたく思いますので、是非ご活用ください。

◇出典(URLは2023年2月7日時点)

1) 医機連, MDPRO データ集, 「国内医療機器市場の動向」

<https://www.jfmda.gr.jp/wp/wp-content/uploads/2019/01/analysis_1.pdf>

医機連, 医機連通信 297号, MDPRO ミニコラム, 「厚生労働省「令和2年薬事工業生産動態統計調査年報」の概観」

<https://www.jfmda.gr.jp/wp/wp-content/uploads/2022/06/ミニコラム_20220315_第297号.pdf>

2) 医機連, MDPRO データ集, 「国内医療機器市場の推移(平成18年～平成30年)」

<https://www.jfmda.gr.jp/mdpro_child/国内医療機器市場の推移_h18-h30/>

3) 医機連, MDPRO データ集, 「医療機器国内出荷金額の推移(薬動月報2019年1月～2022年10月現在)」

<[https://www.jfmda.gr.jp/mdpro_child/医療機器国内出荷金額の推移\(薬動月報2019年1月2022年10月\)](https://www.jfmda.gr.jp/mdpro_child/医療機器国内出荷金額の推移(薬動月報2019年1月2022年10月))>

4) 医機連, 医機連ジャーナル 119号, 「薬事工業生産動態統計調査を活用した市場分析」

<<https://www.jfmda.gr.jp/wp/wp-content/uploads/2022/10/【HP掲載】journal119.pdf>>

5) 厚生労働省, 「諮問第106号の答申 薬事工業生産動態統計調査の変更について」

<https://www.mhlw.go.jp/toukei/list/dl/yakuji_shimon106.pdf>

6) 医機連, MDPRO リサーチ, 「公的統計データに基づく日本の医療機器産業の概況2019」

<https://www.jfmda.gr.jp/wp/wp-content/uploads/2021/05/日本の医療機器産業の概況2019_20210521fix.pdf>

7) 独立行政法人 医薬品医療機器総合機構(PMDA), 医療機器等基準関連情報

<https://www.std.pmda.go.jp/stdDB/index_jmdn.html>

(医療機器政策調査研究所 平井 祐治 記)

医療機器政策調査研究所からのお知らせ  [@JFMDA_MDPRO](https://twitter.com/JFMDA_MDPRO)
Twitterで医療機器産業に関連するニュースを配信中。医機連トップページからフォローできます。